

29年度当初予算の総額は999億1,028万円

29年度の予算が決まりました。予算とは1年間に入ってくるお金(歳入)と使うお金(歳出)の見積りのことで、歳出については上限額です。ここでは、その概要をお知らせします。一般会計主要事業の個別の予算額は3～4ページに掲載しています。※金額の単位をそろえるため、原則1万円未満を四捨五入しました。そのため、公表しているほかの資料と異なる場合があります。

29年度の予算規模

市の予算は①一般会計 ②特別会計 ③公営企業会計の3つに分かれています。簡単にいえば「会計」とは財布に当たるもの。財布を分けて管理することで、お金の出し入れを分かりやすくしています。

一般会計では福祉や教育など市の基本的な経費を扱います。特別会計では国民健康保険料や介護保険料など特定の収入がある事業で、一般会計と分ける

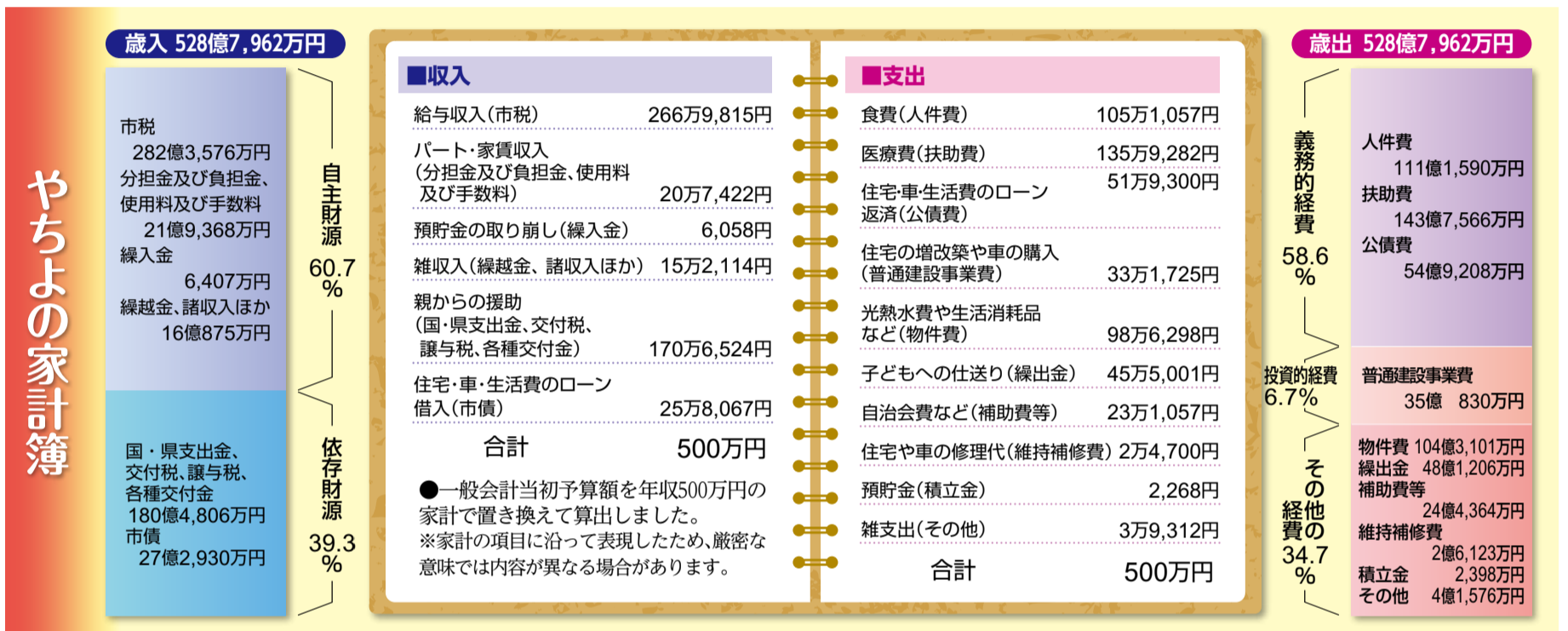
ことで収支をはっきりさせる必要があるものを扱っています。

公営企業会計は独立採算制をとっている公営企業の会計のことで、本市では水道事業、公共下水道事業が該当します。いずれも経営に必要な費用は水道料金や下水道使用料などの事業収益で賄われています。

それぞれの会計の予算規模は次の表のとおりです。予算総額は、28年度に比べて27億7,616万円減り、999億1,028万円となりました。

■市の予算

区分	予算額	対前年度比
① 一般会計	528億7,962万円	5.7%減
国民健康保険事業	217億1,656万円	3.0%減
② 特別会計		
介護保険事業	107億7,120万円	0.6%増
墓地事業	5,185万円	1.1%減
後期高齢者医療	21億1,404万円	5.4%増
小計	346億5,365万円	1.5%減
③ 公営企業会計		
水道事業	68億7,153万円	3.6%増
公共下水道事業	55億 548万円	14.4%増
小計	123億7,701万円	8.2%増
合計	999億1,028万円	2.7%減



■市民一人当たりの一般会計歳出予算額は26万9,886円(前年度は28万7,340円)

一人当たりの一般会計歳出予算額を分野別に表しました。※予算額を人口19万5,933人(28年12月末時点)で割って算出

民生費 高齢者・障害者・児童の福祉など …12万2,510円	総務費 市の運営や市民活動、防犯・防災など …2万8,776円	土木費 道路、橋、公園の整備など …1万6,385円
教育費 学校の管理運営や整備、文化・スポーツ振興など …3万1,032円	公債費 長期借入金の返済など …2万8,030円	消防費 消防活動や施設の維持・管理、救急活動など …1万750円
衛生費 医療、保健、ごみ処理、環境保全など …2万5,427円	その他 議会や農業・商工振興など…6,976円	

■一般会計基金・債務残高(29年度末見込)

※下段は一人当たりの一般会計基金・債務残高(29年度末見込)

基金残高(うち財政調整基金)	市債残高	債務負担行為残高
36億7,079万円(18億4,009万円) 1万8,735円(9,391円)	553億8,290万円 28万2,662円	153億5,793万円 7万8,384円

？財政調整基金 突発的な災害や緊急を要する経費に備えるための基金。

※八千代市財政調整基金条例の規定により、28年度の決算剰余金のうち2分の1を下らない金額を財政調整基金へ積み立てます。

？債務負担行為 複数年度の契約など、将来にわたって支払うことを約束する行為。

問い合わせ	●一般会計・特別会計に関すること 財政課 ☎483-1151(代表)
	●公営企業会計に関すること 上下水道局経営企画課 ☎483-6572

広告